

みき通信

2011年3月17日

頑張れ くぼたみきの会 第3号・部内資料

(日本共産党葉山後援会) 発行連絡先 875-7126

安心して暮らせる町に！

3月11日、突然の大きなゆれにTVをつけてみると津波に流される海岸の町の様子が映し出されました。

地震の影響で電車が動かず、帰宅できないために家族がそれぞれの居場所で一泊した方も少なくありません。

世界中が注目している福島原子力発電所の非常事態と、地震国日本の海岸線に54もの原発があるという現実。原発によらない安全なエネルギー供給に方向転換するときではと思わずにはいられません。

「頑張れくぼたみきの会」では、みきさんとともに「歩きやすい道路」「学校にトイレを改善して」など町民の方々の声をうかがいながら、「安心して暮らせる町にしなくては」の思いを強くしています。

3月13日
逗子駅前



災害支援に協力を！

ハンドマイクで宣伝しながら、「募金箱にお金が入っていないとね。」と一番に募金しました。

子供たちは募金箱を持ち、被災地の写真を広げ、初めての募金活動にはずかしがらずに、大きな声で協力を呼びかけてくれました。若い子供たちがすっとお金を入れてくれ、そのお友達も誘い合うように協力してくれました。

＜3月13日逗子駅で
164587円の募金＞

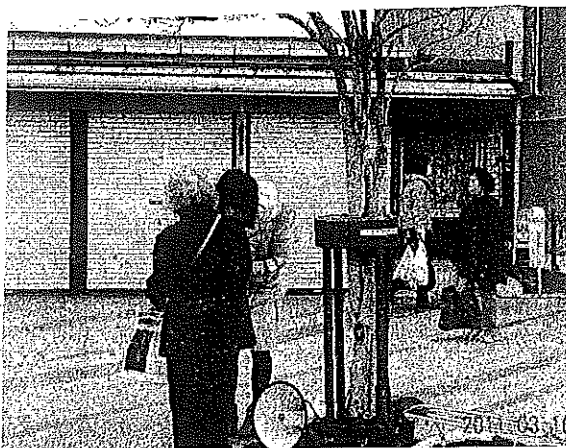
巨大な地震により甚大な被害が発生し、流れてくる映像を見ると「他人事ではない。いつ自分が、家族が被災者に。」と思うと胸が痛くなります。

そして今、私にできることと、考え、逗子・葉山の議員団と支援募金の訴えを街頭にて、行いました。2人の娘からも「参加するよ」と返事をもらい、私は

元気に活動してくれているわが子の姿に、現地の映像、被災された方々の姿、色々な方々の励ましの言葉が複雑にからみ合い、涙が出ました。被災地から離れている私に今、少しでも出来ることとして、心から協力を呼びかけています。

くぼた みき

命をつなぐ救いの手ー募金ありがとうございます。 引き続き、支援を!街頭で合計430616円の募金



東日本大震災の甚大な被害をうけ、日本共産党逗子市委員会と葉山支部は、13日から逗子駅前
で震災者救援の募金を訴えています。余震と凍てつく寒さのなかで、必死に救援を待っている被災
者に思いを寄せた訴え、「共産党だから信頼して」と合計430、616円の募金が寄せられてい
ます。明日18日、19日には逗子駅前です引き続き救援募金と支援を行います。